



35期生進路状況中間報告と1・2年生のみなさんへ



35期生 進路状況中間報告

(平成28年1月7日現在 確定分)

4年制大学	
指定校推薦入試	合格数
関西外国語大学	2
関西大	10
京都華頂大学	1
京都光華女子大学	2
京都産業大学	1
近畿大学	3
森ノ宮医療大学	1
摂南大学	4
大阪人間科学大学	2
大阪成蹊大学	1
大阪総合保育大学	1
大谷大学	1
同志社大学	2
奈良大学	1
藍野大学	1
立命館大学	2
龍谷大学	9
合計	44

短期大学	
指定校推薦入試	合格数
関西外国語大学短期大学部	1
京都文教短期大学	1
常盤会短期大学	1
大阪成蹊短期大学	1
龍谷大学短期大学部	1
合計	5

AO入試	
指定校推薦入試	合格数
京都文教短期大学	6
四條畷学園短期大学	1
常盤会短期大学	1
大阪国際大学短期大学部	1
大阪成蹊短期大学	3
合計	12

推薦入試	
指定校推薦入試	合格数
関西外国語大学短期大学部	7
大阪成蹊短期大学	1
武庫川女子大学短期大学部	3
合計	11

就職	
人数	数
	2

公務員	
人数	数
	1

AO入試大学	
指定校推薦入試	合格数
園田学園女子大学	1
京都嵯峨芸術大学	1
京都造形芸術大学	1
成安造形大学	1
千里金蘭大学	1
大阪芸術大学	1
大阪国際大学	1
大阪人間科学大学	1
大阪体育大学	1
合計	9

私立大推薦入試	
指定校推薦入試	合格数
園田学園女子大学	1
関西外国語大学	9
京都医療科学大学	1
京都外国語大学	4
京都看護大学	1
京都橘大学	6
京都光華女子大学	2
京都産業大学	2
京都女子大学	2
京都美術工芸大学	1
京都文教大学	1
近畿大学	16
甲子園大学	2
阪南大学	1
四條畷学園大学	1
摂南大学	28
大阪音楽大学	2
大阪工業大学	5
大阪歯科大学	2
大阪樟蔭女子大学	3
大阪成蹊大学	2
大阪大谷大学	2
大阪電気通信大学	2
大阪保健医療大学	1

私立大推薦入試つづき	
指定校推薦入試	合格数
大谷大学	18
大和大学	2
天理医療大学	1
同志社女子大学	1
奈良学園大学	1
武庫川女子大学	3
福山大学	1
宝塚大学	2
龍谷大学	13
佛教大学	3
合計	142

専門学校等	
推薦・AO入試	合格数
キャリアールホテル旅行専門学校	1
グラムール美容専門学校	2
なにわ歯科衛生士専門学校	1
パナソニック健康保険組合松下看護	2
ビジュアルアーツ専門学校	1
関西美容専門学校	2
京都芸術デザイン専門学校	1
京都動物専門学校	1
京都保健衛生専門学校	1
行岡医療技術専門学校	1
香里ヶ丘看護専門学校	1
上田女子服飾専門学校	1
新大阪歯科衛生士専門学校	1
大原情報デザインアート専門学校	1
大原法律公務員専門学校	1
大阪ECO動物海洋専門学校	1
大阪IT会計専門学校	1
大阪ビジネスカレッジ専門学校	1
大阪ベルエール美容専門学校	1
大阪医療秘書福祉専門学校	1
大阪医療福祉専門学校	2
大阪観光専門学校	1
大阪歯科衛生士専門学校	1
大阪社会体育専門学校	1
大阪動物植物海洋専門学校	1
辻製菓専門学校	1
東洋医療専門学校	2
履正社医療スポーツ専門学校	1
合計	34

指定校推薦入試	
推薦・AO入試	合格数
パナソニック健康保険組合松下看護	1
ホスピタリティツーリズム専門学校	1
関西医科大学附属看護専門学校	3
高津理容美容専門学校	1
森ノ宮医療学園専門学校	1
合計	7

35期生(三年生)も昨年とほぼ同様に4月時点で約80%以上が大学・短大への進学希望でした。今年の三年生も、昨年と同様、進路に向けての取り組みのスタートは遅かったように見受けられます。それでも推薦入試の出願総数は昨年度より百人以上増加しました。今年度は全国的に受験生の数がピークを迎える一方で私立大学の定員管理が一層厳しくなり、推薦入試は本校生にとって、かなり厳しい結果となりました。従って、一般入試を視野に入れた生徒は、必然的に増加しています。大学短大の合格者合計はのべ223(昨年度は225)。今後の展開を期待して見守ってゆきたいと思えます。

【四年制大学】

指定校推薦入試で進路決定した人は13人増え、AO

【短期大学】

短大に進学予定の人は昨年とほぼ同数となっており、今年度は指定校での入試合格者が12から5と激減し、公募推薦での合格者が3から11に増えました。しかし指定校入試やAO入試で受験することが主流とな

入試で進路決定した人は昨年より減りましたが、近畿大学合格者は19名減少し、京産大も苦戦しましたが、龍谷大は全推薦合計16から22に、摂南大は27から32に増加しました。(うち薬学部8名を含む)。また新しい大阪歯科大(保健医療学部)、京都美術工芸大等にも合格しています。推薦で合格を確保してさらに上を目指すと、という作戦が良いと考えられますが、いずれにせよ三月の一般入試まで粘り強く取り組み事が大切です。

【就職】

景気動向が注目されていますが、今年度も就職に関しては改善の兆しが見られるものの、生徒の希望する職種はほとんどないのが現状です。「進学が難しいから就職」という時代ではありません。また就職試験の形態も、指定校求人から公開求人中心になりつつあり、結果として人気のある職種に志願者が集まり高倍率になってしまう例も見られます。

他の各高校で、受験料や授業料の割引を伴うAO入試が多く導入されています。毎年生徒に注意を促していますが、金額の割引ばかりに気を取られず、学校の内容・就職先の質などを見極めることが必要であり、就職率の高さよりも就職先の質のほうに注目すべきかもしれません。

【専門学校】

専門学校を希望する生徒は、昨年より減少しました。しかし特に看護・医療系では、昨年と同様、自分の進路として初めから受験先を決めている人が多かったです。

1・2年生のみなさんへ

3年生同様、1・2年生も進学希望者(特に四年制大学志望者)が多数を占めています。関関同立や産近甲龍といった特定の大学や、看護・教育・管理栄養・国際関係などの分野は、資格の取れる学部・学科に受験生が集中する傾向がさらに強まっています。倍率として3〜5倍、高いところでは10倍以上の競争率となっています。これは、『他の人と同じだけの勉強量では「落ちる人」の中に入ってしまう』ということですから。この倍率で勝ち抜くためには、他の受験生と同じ勉強量では駄目なのです。

わかりやすいデータを示しておきます。「関西大学に合格した人の1・2年生における家庭学習時間の平均は1時間半〜2時間であり、香里丘高校の1・2年生の学習状況調査でこれだけ家庭学習していた人の数と、香里丘高校の関西大学合格者がほぼ同数である。」というものです。勉強しないで関西大学に合格することはできないのです。

昨年もここに書きましたが、学校の授業では、皆同じ内容を聞き、皆真面目にノートをとっているのにそんなに差がつかえません。それは他校の生徒でも同じです。差をつける事ができるのは「家庭での学習量」なのです。家庭学習の時間を確保してください。

毎年、秋の「明日の香里を考えるホームルーム」で、3年生が1・2年生に伝えたいことの中に、必ず「1・2年生のときにもっとしっかり勉強しておくべき」が出てきます。受験勉強の基礎となる学力を1・2年のうちにきちんと身につける事が大切です。定期考査が終了しても、覚えたことを忘れないようにしななくてはなりません。

【公務員】

今年度は、消防職を希望する者がいました

が、2次で残念な結果となりました。自衛官の合格者が1名です。対策としては、公務員受験を専門に扱っている専門学校実施の、無料の対策講座を受講するのも一案ですが、受験の時期も早いいため、自分の力だけで受験勉強するつもりなら、遅くとも2年生の1学期頃からの準備が必要です。

「1・2年生の勉強が大学入試を決定する」という気持ちを持ちつつ授業を受けるよう心がけましょう。

皆さん、今その勉強量が大丈夫ですか？

勝利を勝ち取った先輩たちの話が、みなさんの持っている「進路の手引き」に、合格体験記として載っています。大いに参考にしてください。

編集後記

35期生のみなさん、卒業おめでとうございませす。この一年間、広報委員として、みなさんの活躍をお伝えできたことが幸せでした。体育祭、文化祭、いつもいつも一生懸命で、その真剣な眼差しはとて魅力的で、その感動をPTAだよりを通して、保護者の皆様にお伝えしたく、一年間活動して参りました。活動を支えて下さった皆様、ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。

平成28年度 広報委員一同